

子ろばだより 北総教会 J C 通信

2012.4.22

第 33 号

発行責任者 印西市草深天王脇 1139-7

日本基督教団千葉北総教会 牧師 大串眞



でんわ 0476(37)8732 牧師携帯 08031596561

私の好きな聖書のことば

「主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ／憩いの水のほとりに伴い／魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる。

／ 死の陰の谷を行くときも／わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖／それがわたしを力づける。

／ わたしを苦しめる者を前にしても／あなたはわたしに食卓を整えてくださる。わたしの頭に香油を注ぎ／わたしの杯を溢れさせてくださる。

／ 命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。」詩編 23：1～6

この詩編は「牧者の歌」と言われとても有名な詩です。私がこの詩編と出会ったのはまだ教

会に通って間もない頃でした。1987年私が24歳で、子供が2歳と1歳の時、イースターに洗礼を受けた記念に聖書を頂いたのですが、その巻頭に書いてありました。

私はその詩編を何度となく読み返しました。神様は私と共にいて下さり、私は教会につながっていくものだと思っていました。いろいろと困難や悩みに出会う度に、聖書を開き、この詩編を読みました。

私は一度教会から離れた時がありました。仕事に没頭し、日々過ごしていましたが、ある時心の病気になり、生死をさまよった事がありました。目を覚ますと家族が私を見下ろしていました。その時思ったのは、この詩編の「死の陰の谷を行くときも、わたしは災いを恐れない、あなたが共にいてくださる」という箇所でした。

私は祈りました。病気が良くなり、社会復帰ができたならまた教会へ戻ります。そして、祈りは聞き届けられまた教会へと戻ることができました。

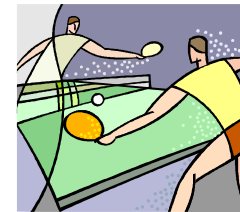
そして、わたしはあの詩編の最後の箇所を想いました。「主の家に帰り、生涯そこにとどまるであろう。」聖書の御言葉は生きていますと私は実感しました。

Y・T



今月のイチオシ

僕は今卓球にはまっています。ラケットは「インナーホース」がおすすめです。オリンピック候補に入っている水谷準選手にアコがられています。みんなで応援してください。
G・O



今月の拡大アクティビティ

母の日のカーネーション
を作ろう!



4月29日(日) 9:20～10:20